

## 平成30年度 米子市社会福祉協議会事業報告書

### I 総括及び重点目標の取り組み状況

#### ＝重点目標＝

- 1 事業推進体制の整備（機構改革、専門委員会、プロジェクトチームの活用）
- 2 財政基盤の強化（第2次発展・強化計画の具現化）
- 3 地域福祉事業の推進（地区社協、自治連等との協働による地域づくりの推進）
- 4 生活支援・総合相談事業の推進（よなご暮らしサポートセンターの機能強化）
- 5 広報活動の推進（よなご社協だより、ホームページ、マスコミへの積極的  
情報提供）

米子市社会福祉協議会では、誰もが自分らしく安心して生活を送ることができる地域社会を目指し、支え合いのまちづくりに取り組んでまいりました。

組織体制は、4課から4課・2室・1センターへと再編し、事業運営の機動的かつ効果的な推進を図りました。企画広報室、地域福祉推進室、よなご暮らしサポートセンターを新設し、きめ細かく専門的な業務実施を進めました。

地域福祉事業では、地区社協との連携強化に努め、地域での福祉活動を支援してまいりました。また、在宅福祉員による見守り活動の内容を見直す等支え合いの仕組みづくりに取り組みました。

よなご暮らしサポートセンターでは、様々な悩みや課題を抱えた人の相談窓口を1本化し、解決への道を模索してまいりました。また、生活困窮の状態にある人、権利擁護を必要とする人、高齢者等の様々な問題を抱える一人ひとりに寄り添い、自立を目指して支援を行いました。緊急の支援としては、フードパートナー事業による食料の支給を行いました。

財政改善については、介護事業の経営改善、会員拡大、収益事業等の取組を行い、財政基盤の強化に努めました。

近年、大きな災害が続いておりますが、平成30年度も大阪北部地震、西日本豪雨災害、北海道胆振東部地震等が発生しました。西日本豪雨災害では、本会からも広島県東広島市、坂町、岡山県倉敷市真備町の災害ボランティアセンターへ多数の職員を派遣し支援いたしました。

広報活動としては、社協の活動をもっと知っていただくため、ホームページのリニューアルやイベントへの参加によりPRを行いました。

今後も地域住民やボランティアの方、地区社会福祉協議会、民生児童委員等関係機関・団体と連携を強化し地域の課題、ニーズに基づいた活動に取り組んでまいります。

## II 事業実施報告

### 1 法人運営事業

会議の開催及び参加、事業の企画立案及び実施と諸規程の整備、苦情対応と情報公開の推進等、適正な法人の運営、財政の健全化と組織の強化に努めた。

#### (1) 会議の開催

##### ア 正副会長会の開催

正副会長会を開催し、理事会、評議員会提出議案等について協議した。

##### イ 理事会の開催状況（5回）

（会場：米子市福祉保健総合センター）

開催日	内容等
平成30年6月7日	<ul style="list-style-type: none"><li>・報告事項 会長の職務執行状況について 第2次発展強化計画策定について 福祉バスの入札結果について</li><li>・平成30年度収支補正予算同意</li><li>・平成29年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録承認</li><li>・理事候補者決定</li></ul>
7月24日	<ul style="list-style-type: none"><li>・報告事項 会長の職務執行状況について 東広島市災害ボランティアセンター職員派遣報告</li><li>・福祉バスの処分議決</li><li>・米子市社会福祉大会開催要項及び大会役員について議決</li><li>・評議員候補者決定</li><li>・協議事項 各地区敬老会来賓の代理出席者決定</li></ul>
9月14日	<ul style="list-style-type: none"><li>・報告事項 会長の職務執行状況について 西日本豪雨災害ボランティアセンター職員派遣報告</li><li>・平成30年度米子市社会福祉協議会長表彰候補者の審査</li><li>・在宅福祉員活動及び補助金変更案議決</li></ul>
12月10日	<ul style="list-style-type: none"><li>・報告事項 会長の職務執行状況について 上半期財政状況について 福祉バス運営委員会報告</li><li>・福祉バスの運営（積立金、運行範囲等）変更案承認</li><li>・介護事業検討委員選任</li></ul>
平成31年3月12日	<ul style="list-style-type: none"><li>・報告事項 会長の職務執行状況について 役員及び職員給与規程の改正について 社会福祉法人指導監査結果報告</li><li>・収益事業実施議決</li><li>・定款の変更同意</li><li>・事務局組織規程の改正議決</li><li>・経理規程の改正議決</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員及び評議員等報酬等支給規程の改正議決</li> <li>・マイクロバス購入資金等積立金設置規程の改正議決</li> <li>・マイクロバス購入資金等積立金設置規程施行細則の改正議決</li> <li>・平成30年度補正予算同意</li> <li>・資金の借入承認</li> <li>・平成31年度事業計画、収支予算同意</li> <li>・福祉基金の取崩し議決</li> <li>・評議員会の招集議決</li> </ul>
--	---

ウ 評議員会開催状況（2回）

（会場：米子市福祉保健総合センター）

開催日	内容等
平成30年6月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度資金収支補正予算議決</li> <li>・平成29年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録承認</li> <li>・理事の選任</li> </ul>
平成31年3月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告事項 社会福祉法人指導監査結果報告</li> <li>・収益事業実施承認</li> <li>・定款の変更決議</li> <li>・役員及び評議員等報酬等支給規程の改正議決</li> <li>・平成30年度補正予算議決</li> <li>・平成31年度事業計画、収支予算議決</li> </ul>

エ 監査会開催状況

（会場：米子市福祉保健総合センター）

開催日	内容等
平成30年5月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録の監査</li> </ul>

オ 委員会の開催

①評議員選任・解任委員会

評議員を選任する評議員選任・解任委員会を開催し、評議員候補者について審議し、欠員の評議員3名を選任した。

- ・開催日 平成30年8月22日
- ・出席者 5人（委員3人、市社協2人）

②福祉バス運営委員会

福祉バス運営委員会を開催し、購入積立金、利便性の向上策等を協議した。

（第4回）

- ・開催日 平成30年7月19日
- ・出席者 9人（委員5人、市社協4人）

(第5回)

- ・開催日 平成30年11月29日
- ・出席者 9人(委員5人、市社協4人)

③介護事業検討委員会

介護事業検討委員会を開催し、介護事業の現状、課題、今後の方針等を協議した。

- ・開催日 平成31年2月20日
- ・出席者 9人(委員5人、市社協4人)

(2) 規程の改正の状況

- ・役員及び職員給与規程の改正
- ・マイクロバス購入資金等積立金設置規程の改正
- ・定款の変更
- ・経理規程の改正
- ・役員及び評議員等報酬等支給規程の改正
- ・事務局組織規程の改正

(3) 役員、評議員の選任状況

①理事の補欠選任

平成30年6月21日付

理事に欠員が生じたため補欠選任を行った。

- ・理事 2人  
徳永文隆、鷲見 均

②評議員の補欠選任

平成30年8月22日付

評議員に欠員が生じたため補欠選任を行った。

- ・1号評議員 2人  
本池徳雪、安達 優
- ・2号評議員 1人  
端下良則
- ・4号評議員 2人  
松村 寛、中村富士子

(4) 苦情対応

苦情対応の体制整備のため、苦情解決第三者委員を設置し研修会へ参加した。

ア 苦情解決第三者委員

秦 啓郎、本池美由樹、松本 眞

イ 研修会への参加

- ・福祉サービス苦情解決事業研修会  
期日 平成30年6月28日  
会場 東伯郡湯梨浜町 ハワイアロハホール  
参加者 6人(委員3人、市社協3人)

・ 苦情受付担当者研修会

期日 平成30年9月27日

会場 ふれあいの里

参加者 市社協1人

(5) 財政の健全化

自己財源確保を目指し、新たに収益事業として福祉の地域づくり自動販売機を公園・企業等に5台設置した。地区社協会長に賛助会費について説明し加入促進のための協力をお願いした。寄付金では、香典返し寄付金の減少傾向が続いており、寄付金税額控除について広報などで周知に努めた。また、職員に財政状況についての説明を行い職員の意識改革、組織の活性化に努めた。

福祉の地域づくり自動販売機の状況（平成30年8月～平成31年3月31日）

区分	実績額（円）
販売手数料	219,467

会費の状況（平成31年3月31日現在）

区分		実績額（円）
一般会費	38,830世帯	23,298,000
団体会費	90件	450,000
賛助会費	169件	1,375,000

寄付金の状況

区分	実績額（円）
一般寄付	1,992,894
香典返し	9,411,000

(6) 情報公開

本会の事業内容、事業計画・予算書、事業報告・決算書、について「よなご社協だより」及び本会ホームページに掲載した。また、選任された理事及び評議員の氏名、役職を「よなご社協だより」に掲載した。

(7) 広報・PR活動の実施

市民に対する福祉意識の啓発のために、広報活動として、会報を発行するとともに、ホームページによる情報発信、PR活動を行った。

ア 会報「よなご社協だより」の発行全戸配布

年4回発行 150号～153号

1回当たり発行部数 46,200部

イ ホームページによる情報発信

1月に「見やすく・分りやすく」をテーマにリニューアルを実施した。

福祉サービスの内容、行事等随時更新し充実を図った。

## ウ PR活動

社会を明るくする運動、クリーン活動、高校生マナーアップさわやか運動に参加し、活動を通してPRに努めた。

## (8) 大会の開催及び参加

社会福祉に対する世論の喚起と市民福祉の充実を図るための社会福祉大会の開催をはじめ、精霊の供養のための精霊会を開催した。また、福祉に関係のある各種大会の共催及び参加をした。

### ア 米子市精霊会・流灯会の開催状況

- ① 開催期日 平成30年8月16日
- ② 会場 米子市湊山公園
- ③ 参加者数 約1万人
- ④ 内容 米子仏教会等と実行委員会を組織し、精霊送りと灯ろう流し、供物の受取りを実施した。

### イ 県民総合福祉大会の参加状況

- ① 開催期日 平成30年8月28日
- ② 会場 米子コンベンションセンター
- ③ 参加者数 1316人(本会参加者230人)
- ④ 内容 表彰、講演、活動発表、アトラクション

### ウ 米子市福祉のつどいの共催状況

- ① 開催期日 平成30年9月30日(中止)
- ② 会場 どらドラパーク米子市民体育館及び周辺
- ③ 内容 米子市ボランティア協議会、米子市との共催により、1,000人ウォーク、レクリエーション、マジックライス実演等を実施予定であったが、台風のため中止

### エ 第51回米子市社会福祉大会の開催状況

- ① 開催期日 平成30年10月15日
- ② 会場 米子市福祉保健総合センター
- ③ 参加者数 約300人
- ④ 内容
  - 1) 表彰
  - 2) 講演 演題:「大山開山1300年」  
講師: 大山町教育長 鷺見 寛幸 氏
  - 3) 特別展示 大山開山1300年関連 写真、ポスター、グッズ
  - 4) 福祉の店バザー
  - 5) 健康チェックコーナー(包括支援センター)

### オ 米子市民余芸大会の共催状況

- ① 開催期日 平成30年12月15日
- ② 会場 米子コンベンションセンター
- ③ 参加者数 約1,300人

- ④ 内 容 山陰中央新報社、米子市との共催により、チャリティーショーを開催した。(寄付金額 840,623円)

(9) 顕彰の実施

本市における社会福祉事業の推進に功績のあった個人、団体に対し、表彰又は感謝状を贈呈した。

ア 米子市社会福祉大会における市社協会長表彰及び感謝状状況

①社会福祉事業表彰

- 1) 永年在職団体役員 18人  
 2) 永年在職民生児童委員 1人  
 3) 永年在職施設団体職員 40人

②社会福祉事業感謝状

- 1) 社会福祉協議会役員功労者 2人  
 2) ボランティア団体 1団体  
 3) 永年在職在宅福祉員 18人

イ 米子市社会福祉大会以外における感謝状状況

- ①在宅福祉員特別感謝状 22人  
 ②社会福祉事業協力者 1人

(10) 人材育成

職員の能力向上、育成を目指し、各種研修、講演会に参加した。

(11) 職員の福利厚生

職員の健康保持増進を図るため、衛生委員会を開催し、衛生に関する調査審議するとともに健康診断、ストレスチェック、講習会等を実施した。

ア 衛生委員会 4回開催(平成30年4月16日、6月15日、11月28日、平成31年3月5日)

イ 健康づくり講習(ヨガ講習) 平成30年6月8日 12人参加

ウ 健康診断 59人受診(9~11月)  
 ストレスチェック 62人受診(9月)

(12) 米子市社会福祉法人等連絡会

市内の社会福祉法人・社会福祉施設が一堂に会し情報や意見交換し、ともに地域における公益的な取組を進めるため連絡会を開催した。また、役員会を2回開催し、連絡会の取組内容等を協議した。

連絡会の開催状況

開催日	参加法人	内容等
平成30年4月26日	21法人	・米子市の組織機構改正の趣旨と概要(斉下福祉保健部長他) ・分科会(市事業概要等)

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡会開催時期</li> <li>・執行体制及び役員会</li> </ul>
平成31年2月21日	19 法人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演「安来市社会福祉法人等連絡会の取組み」</li> <li>講師 安来市社会福祉協議会地域包括支援センター長 足立卓久氏</li> <li>・今後の取組について意見交換</li> </ul>

(13) 災害への支援

「平成30年7月豪雨災害」の発生に伴い、「中国ブロック県・指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定」に基づき県社協からの要請により被災地の災害ボランティアセンターの運営支援にあたる職員の派遣を行った。

派遣場所 東広島市、坂町、倉敷市

派遣期間 平成30年7月16日～10月31日

派遣人数 18人

また災害義援金募集を行い、日本赤十字社を通じて義援金を送った。

2 地域福祉事業

地域福祉活動を推進するために地区社協を中心とした各種事業を実施した。また様々な事業所や機関、住民団体、行政等との連携、協働を図りながら地域福祉の向上に資する活動を行った。

(1) 地域支援事業

① 地域福祉コーディネート事業

地域福祉コーディネータを配置し、各地区における地域福祉活動への協力、支援を行った。

② 地区版の地域福祉活動計画の取り組みへの支援

地区版の地域福祉活動計画の作成を通じて、住民自身が地域課題を把握し、課題解決に向けた具体的な福祉活動を検討し取組むことにより、地域福祉活動の推進を実践した。また既に計画を作成された地区における進捗状況の点検、今後の取り組みへの支援を行った。

地区	内容	回数
福生東	活動計画に関する打合せ、協議	2回
	計画策定後の推進委員会への参加	11回
福生西	活動計画に関する打合せ、協議	2回
	計画策定後の推進委員会への参加	3回
県	地域社会福祉部会への参加	2回

③ 地区における地域福祉推進委員会の整備

地区版の地域福祉活動計画作成のために地域住民の代表者で構成する地域福祉推進委員会に対して活動支援を行った。

④ 災害時における支え愛地域づくり推進事業

鳥取県社協が実施主体である災害時における支え愛地域づくり推進事業について、事業の周知活動や申請の窓口業務を実施した。

推進事業実施自治会数 7自治会

⑤ 地域での福祉教育の推進

各地区が実施する研修会等に参加し、地域福祉について理解の促進、啓発活動を行った。

⑥ 地域立子どもの遊び場の支援

地域住民参加の団体で運営している遊び場を登録し、助成を行った。

地域立子どもの遊び場設置数（市社協登録施設）103施設

⑦ 各公民館・自治連合会・民生児童委員協議会等との連携

地区内の各種関係団体と連携、協力しながら地域福祉の推進に向けた活動を実施した。

(2) 地区社協活動支援事業

① 地区社協活動財源の支援

地区社協に対し補助金を交付し地域福祉活動に対する支援を行った。

② 地区社協への各種情報提供

米子市地区社会福祉協議会長連絡会の開催

米子市地区社会福祉協議会長連絡会の運営に協力するとともに、地域福祉活動の支援、協働を推進した。

平成30年5月25日、平成30年8月21日、平成30年11月6日、平成31年2月22日

3 地域生活支援事業

(1) 小地域ネットワーク事業

① 見守り援助活動の推進

在宅福祉員により一人暮らし高齢者等の要援助者を対象に、見守り援助活動を行うことを通じて、日常生活上の困りごとの早期発見や専門機関に繋ぐ活動及び給食サービス活動を実施した。

在宅福祉員数 809人

見守り援助活動対象者 2,927人

給食サービス活動の実施状況

実施回数	対象者数（延べ）	サービス提供者	
		調理者数（延べ）	配達者数（延べ）
240回	11,595人	2,367人	2,624人

おせち料理、クリスマス料理の実施状況

対象者	おせち料理	クリスマス料理
2,505人	12地区	15地区

## ② 在宅福祉員活動見直しの検討

見守り援助活動の充実を目的に、在宅福祉員活動について事業の見直しを行った。事業目的の明確化、見守り援助活動の対象者の変更、給食サービスの変更、民生児童委員との連携強化等を行い、平成31年度より見直した内容にて事業を実施する。

## ③ ふれあい・いきいきサロン活動の推進

日中閉じこもりがちな高齢者等が定期的に集うことにより、日中活動の充実や住民同士の繋がり、困りごとの早期発見を目的としたふれあい・いきいきサロン活動を支援した。

ふれあい・いきいきサロン活動の実施状況

設置数	対象者	世話人数	合計
152サロン	3,158人	1,008人	4,166人

## (2) 災害時要支援者避難支援の推進

### ① 支え愛マップづくり活動の推進

小地域（自治会・町内会域）において災害時の要援助者避難支援や、平常時の見守り体制構築を目的に作成する住民の支え愛マップづくり活動について、市内各自治会に対して事業内容、マップづくり作成手法等の説明会を実施し支え愛マップづくり活動の支援を行った。

訪問支援自治会数 8自治会（のべ9回）

## 4 ボランティア活動、福祉教育の推進

### (1) ボランティア活動の推進

ボランティア活動の拠点として、市民のボランティアに対する理解と関心を深め、活動に必要な情報の収集・提供、また各種講座の開催等を行い、ボランティア育成・支援の推進を図った。

#### ① 米子市ボランティアセンターへのボランティア登録状況

登録団体は、増加傾向にある。

区分	登録数
登録ボランティアグループ	119グループ
登録個人ボランティア	333人

#### ② 米子市ボランティアセンターへの相談状況

高齢者施設からの依頼が増加傾向にある。

区分	件数・人数
新規登録	(個人7人、11団体)
依頼件数(要請・お願い)	81件
相談件数(助言・情報提供)	215件
コーディネート	78件
活動件数	(個人14人、54団体)

### ③ボランティア講座・研修会の開催

#### 1) 精神保健福祉ボランティア講座

米子市障がい者支援課と共催

地区民生委員等に呼び掛けたところ、昨年よりも受講者が増加した。困りごとについて積極的に質問される様子も伺えた。受講者のうち、約10%が地域において活動支援を行っている。

No.	開催日	場所	講座内容	受講者数
1	7月13日(金)	ふれあいの里	・参加者自己紹介 ・講演『精神障がいについて』 ・ボランティアの心構え	10
2	7月20日(金)	ふれあいの里	・米子市の精神保健制度について ・講演「病院から地域につなぐために」 ・講演「あいサポート運動について」	10
3	7月25日(水)	米子病院	米子病院デイケアに参加交流	9
4	8月9日(木)	ふれあいの里	・発達障がいについての基礎知識、米子市の支援体制等について ・「家族会」の話	7
5	8月23日(木)	ふれあいの里	・先輩ボランティアの話 ・米子市デイケア 「こころのひろば」参加と交流	9
6	9月6日(木)	あんず・あぷりこ	就労支援事業所見学及び修了式	8
合計				53

#### 2) レクリエーション講座

初の試みとして、2人の講師に3回ずつ、計6回の講座を開催した。

No.	開催日	場所	講座内容	受講者数
1	1月31日(木)	ふれあいの里	「地域を支えるお互いさまの活動を目指して！」(講師：ト蔵久子氏)	8
2	2月1日(金)			9
3	2月5日(火)			8
4	2月8日(金)		『「楽」「笑」「遊」を創る！～軽スポーツ、ゲーム、工作遊び』(講師：安田智氏)	8
5	2月12日(火)			8
6	2月15日(金)			9
合計				50

#### 3) 「ふれあいの里・ぼらんていあ祭」米子市ボランティア協議会と共催

米子市ボランティア協議会30周年記念事業

平井県知事からいただいたビデオレターを上映し、伊木市長には講演をしていただいた。また、米子市ボランティアセンターの登録団体や作業所等にも参加を呼びかけ、ボランティア関係7団体・作業所5団体にも参加いただいた。

	開催日	場所	内容	参加者
1	11月17日(土)	ふれあいの里	・平井県知事ビデオレター ・伊木市長講演 ・ボランティア活動体験、紹介、展示等	約500名

#### ④ボランティア活動保険加入の受付窓口

1) ボランティア活動保険…ボランティア活動中におこる様々な事故からボランティアの方々を補償する保険。7月豪雨災害等の影響で、被災地にボランティアへ出かける方が多く、加入件数が増加した。

加入受付件数 189 件

区分	加入者数 (人)	備考
在宅福祉員	820	補助金 @350
高校生 (ボランティア体験事業)	97	補助金 @500
個人ボランティア	1,706	
総計	2,623	

2) ボランティア行事用保険…本会を始め、その構成員や会員である団体・グループなどが社会福祉事業の一環から主宰する様々な行事でのリスクに備えるための総合補償制度。

加入受付件数 66 件

3) 福祉サービス総合補償…本会を始め、その構成員や会員である施設、団体、その他のグループ等が行う在宅福祉・地域福祉サービスでの様々な事故に対する備えとしての総合補償制度。

加入受付件数 12 件

4) 社協の保険…本会が行う業務を補償。

加入受付件数 1 件

5) 送迎サービス補償…本会を始め、その構成員や会員である施設、団体、その他のグループ等が行う送迎サービスでの様々な事故に対する備えとしての補償制度

加入受付件数 16 件

6) 事故発生件数…件数が大幅に減った。

取扱件数 1 件

⑤米子市ボランティアセンター会議室の利用状況

登録団体や活動件数が増えたことにより、会議室の利用も増加した。

部屋別利用状況 (開所日数: 308日)

	ボランティア室	録音室	研修室1	研修室2	録音録画室	合計
件数	286	1	427	300	303	1,317
人数	2,777	1	4,831	4,676	1,065	13,350

	会議	学習会	作業	録音	録画	その他	合計
件数	300	405	3	304	0	305	1,317
人数	4,432	5,006	22	1,066	0	2,824	13,350

⑥ボランティア器材の貸出し

器材名	件数
託児用おもちゃ	5
スタッフジャンパー	0
アイマスク	0
ボランティア関連書籍	9
移動式スクリーン	0
畳 (半畳)	7
DVD	0

⑦ 広報活動・情報提供

1) 情報誌「ぼらんていあ情報」の発行（米子市ボランティア協議会共同発行）  
年に12回（毎月1日）1回当たり2,200部を発行し、公民館、社会福祉施設、小・中・高等学校、専門学校、病院、市役所、ボランティアグループ、銀行・信用金庫各支店、バスセンター等に配布。社協ホームページ内にも掲載

2) ボランティア情報掲示板の設置

ボランティアセンターのフロアに掲示板を設置し、ボランティア募集、ボランティアに関するイベント・講座等の情報提供を行った。

⑧ 情報収集

ボランティア受け入れ施設・ボランティアグループの調査

鳥取県西部地域における各関係機関・施設及びボランティアグループ・団体に対し、ボランティア募集について随時調査を実施

⑨ ボランティア体験事業

鳥取県社会福祉協議会と共催

参加者 97人（体験事業受入協力 54施設）

⑩ 米子市介護支援ボランティア事業

登録人数 76人（事業受入協力 60施設）

⑪ 障がい者理解と防災意識の啓発

「米子市福祉のつどい」の開催予定であったが、台風接近のため中止

⑫ 米子市ボランティア協議会の事務局及び運営協力

⑬ 災害ボランティアセンター（平成30年西日本豪雨災害へ）

被災地にて開設された災害ボランティアセンターへの職員派遣を通じて、災害ボランティアセンターの設置、運営方法等についての情報収集を行っている。

(2) 福祉教育の推進

福祉の心が家庭・地域・学校などで体験的に培われるよう、市内36全小・中・特別支援学校を福祉教育推進校に指定して、児童生徒に対する福祉教育の推進を図るため、1校30,000円の助成を行った。

・福祉教育推進校育成助成状況

区分	育成助成（校）
小学校	23
中学校	11
特別支援学校	2
計	36

## 5 生活支援・総合相談事業

### (1) 生活困窮者自立支援事業

#### ア 自立相談支援事業

経済的かつ社会的困窮状態にある方に対して、包括的かつ継続的な相談支援、同行支援、求職活動の支援、自立支援計画の作成等を実施した。プラン作成件数が増えてきており、自立に向けた支援を行っている。

相談者の状況に基づくアセスメントから必要に応じた他機関への同行支援等を行うことによって、他制度の利用や他機関との連携を図った。

#### 相談の状況

	(件)
新規相談受付件数	228
新規申込受付件数（本人同意有）	37
情報提供のみで終了件数	92
他機関へのつなぎで終了件数	25
プラン作成件数	31

#### 支援実績

内容	(件)
電話相談・連絡	979
訪問・同行支援	191
面談	501
支援調整会議（プラン策定）	32
支援調整会議（評価実施）	11
その他関係機関との会議	28
他機関との電話照会・協議	601
その他	143

### (2) フードパートナー事業

緊急的かつ一時的に食事の確保に困るほど生活に困窮している世帯に対して、生活に必要な食料等を提供する生活再建に向けた支援を行った。支援件数は増えている。

#### 支援対象世帯の状況

	件数
一般	27
貸付申請中	11
生活保護申請中	4
生活保護受給中	11
合計	53

世帯	件数
単身	30
2人	10
3人以上	13
合計	53

食品・食材提供者（平成31年3月31日現在）

登録者	10件
-----	-----

(3) えんくるり事業による経済的支援（現物給付）

既存の制度では対応できない、または緊急を要する場合の一時的な支援として、現物給付による経済的支援を実施した。

支援件数	6件
------	----

(4) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

日常生活に不安を抱えている高齢者や障がい者（知的・精神障がい）の方等を対象に、福祉サービスの利用援助とそれに伴う日常的な金銭管理、書類等預かりサービス等を実施した。知的障がい者・精神障がい者の新規契約件数が増えており、相談援助件数も増えている。

① 現在利用者数（平成31年3月31日現在）

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	生活保護（再掲）	合計
46	24	23	1	38	94

② 新規契約・解約件数

高齢者		知的障がい者		精神障がい者		その他		合計	
新規	解約	新規	解約	新規	解約	新規	解約	新規	解約
7	9	7	0	4	0	0	0	18	9

③ 相談援助件数

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
1,406	701	1,022	55	3,184

(5) ふれあい総合相談事業の実施

日常生活の悩みや心配ごとについて、よなご暮らしサポートセンター職員が相談に応じる一般相談、法律問題について弁護士が相談に応じる法律相談を実施した。

相談の開設状況

相談種類	開設日	日数	相談延件数
法律相談	毎月第1、第3月曜日 (変更有)	24	80
一般相談 (電話相談含む)	月～金曜日 (祝日及び年末年始の休日は除く) 午前9時～午後5時		267 (法律相談受付含む)

相談取扱件数及び内容

相談者延件数	267 (件)		
相談分類	件数(件)	相談分類	件数(件)
生計	9	法律	114
年金	1	財産	37
職業・生業	10	事故	1
住宅・土地	33	児童福祉	3
家族	29	障害者(児)福祉	7
結婚・離婚	21	母子福祉・父子福祉	0
債権・債務	17	高齢者福祉	23
健康・保健・医療	15	苦情	4
教育・青少年	1	その他	36
		合計	361

(6) 資金の貸付

ア 生活福祉資金の貸付

低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯を対象に、必要な相談支援ならびに安定した生活を送るための資金の貸付を行った。昨年度より相談件数、資金貸付件数ともに減少している。

相談件数(延べ)	758件
----------	------

資金別貸付件数及び金額

資金の種類	貸付件数(件)	貸付金額(円)
福祉資金(福祉費)	3	646,616
緊急小口資金	18	1,640,000
教育支援資金	3	1,145,000
臨時特例つなぎ資金	1	100,000
総合支援資金	11	2,155,412
計	36	5,687,028

イ たすけあい金行の貸付状況

生活保護申請中の世帯を対象に、生活保護が決定される間で、第1回目の生活保護費が支給される日までの生活費として貸付を行った。

資金の種類	貸付件数 (件)	貸付金額 (円)
一時貸付		
20,000円 (1～2人世帯)	56	1,120,000
30,000円 (3人以上世帯)	4	120,000
合計	60	1,240,000

6 地域包括支援センター運営事業

担当地区（啓成、車尾、福生東、福生西、福米東、福米西）

◆ 地域包括ケアシステム構築に向けて

H30年度は、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務充実のために、特に医療介護連携・在宅医療推進を重点に置き、居宅介護支援事業所連絡会を計画した。担当圏域内の病院・医療系サービス（訪問看護・訪問リハビリ）・薬剤師等と居宅介護支援事業所の介護支援専門員と合同の研修会を通して連携を支援した。また、民生児童委員との合同研修会は平成25年から継続しており、H30年度は6地区の地図を使って、社会資源や避難所・施設などを落とし込み、地域特性など確認する会を行った。

地区毎の活動も、地区講座・公民館祭など地域の行事に参加し、センターの広報活動・介護予防に関する情報提供に努めた。

地域ケア会議は、個別事例に関しては多職種・地域の方々との協働の機会とし、また、福生東西での地域福祉活動計画の具体化に向けての会議に出席、車尾地区では支え愛連絡会への継続支援を行ってきた。

ア 総合相談・権利擁護業務実績

高齢者の総合相談窓口として、介護・保険・医療・暮らし等に関して様々な困りごとに対応している。担当地区以外からの相談も100件を超えている。

( )内は昨年度実績

相談件数（延べ件数）			
電話	訪問	来所	合計
17,634(13,720)	11,020(9,295)	465(468)	29,119(23,483)

( )内は昨年度実績

相談内容（延べ件数）				
介護保険サービス	地域支援事業(介護予防) その他福祉に関すること	権利擁護関係	その他	合計
18,092(13,527)	2,956(4,196)	68(39)	201(252)	21,317(18,014)

イ 介護予防ケアマネジメント業務実績（延べ件数）

予防給付は、要支援認定者の介護保険利用件数、予防事業は、総合事業の利用件数となっている。介護保険の利用者数は、緩やかな増となったが、新規利用者の実人数は180人増だった。

( )内は昨年度実績

予防給付	予防事業	合計
6,471(6,457)	826(712)	7,297(7,169)

ウ 地域におけるネットワーク構築業務実績（延べ件数）

地域の公民館や活動団体との連携活動や高齢者の個別訪問の件数をあげている。地域密着型サービス事業所の数が多く、運営推進会議に出席する中で、事業所が地域との交流が図れるよう支援している。

( )内は昨年度実績

地域ニーズの把握・啓発・ネットワーク構築	実態把握	地域ケア会議	地域密着運営推進会議
269(216)	474(484)	18(19)	93(68)

エ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務実績（延べ件数・回数）

包括的・継続的ケアマネジメント支援では、地域の居宅介護支援事業所の介護支援専門員の支援を行っている。介護支援専門員からの相談対応や地域・医療との連携のための研修会を事業所の主任介護支援専門員と一緒に計画・運営している。また、職員の研修参加回数は延べ100回増えており、自己研鑽に努めている。

( )内は昨年度実績

ケアマネ個別支援（件）	研修会・他機関との連携会議（回）	居宅連絡会（研修会・事例検討）（回）
1,044(1,004)	1,431(1,328)	7(7)

オ 地域支援体制構築

介護予防地区講座支援では、公民館の講座で介護予防に関する情報提供を行った。また、地区内のサロン支援では、情報提供や実態把握に努めている。認知症理解啓発事業としては、小学校に出かけ絵本を使っての啓発活動を行っている。さらにタッチ

パネルを使用して認知症の早期発見・相談に対応している。

( )内は昨年度実績

介護予防地区講座支援 (回)	サロン支援 (回)	認知症理解啓発事業 (回)	タッチパネル式物忘れ簡易健診 (人)
12(12)	22(20)	18(9)	122(83)

#### カ 緊急通報受信実績

緊急通報装置付き電話を設置している高齢者の電話対応をしている。緊急対応だけでなく、年に一度設置者を訪問し実態把握を行っている。年々、利用者の高齢化に伴い撤去するケースが増えている。

( )内は昨年度実績

緊急ボタン (件)	相談ボタン (件)	合計 (件)
0(4)	0(4)	0(8)

#### キ 実習生受け入れ

地域で活躍される福祉・医療の人材育成を支援している。T-HOC実習とは、鳥取大学病院が行っている病棟看護師の在宅研修であり、29年度より実習受け入れをしている。また、H30年より鳥取看護大学の実習を新規で受け入れている。

( )内は昨年度実績

医療センター(人)	米子北高等学校(人)	訪問看護師養成(人)	T-HOC実習(人)	鳥取看護大学(人)	合計(人)
8(8)	8(6)	4(4)	4(3)	5	29(21)

### 7 米子ファミリー・サポート・センター運営事業

センターは、地域において子育て支援を図るため、育児の援助を行いたい者(援助・両方会員)と受けたい者(依頼・両方会員)を会員として組織化し、アドバイザーが仲介に入り、会員相互の育児支援活動を行った。

\*アドバイザー(3名)は、広報活動や援助活動の調整及び各種講習会や会員交流会を開催し、他のファミリー・サポート・センターや他の関係機関との連絡調整を行った。また、アドバイザーの補佐的な役割を担うサブリーダー(中学校区を単位として援助・両方会員から選任した10名)の育成指導にもあたった。

#### ア 会員数について(平成31年3月31日現在)

依頼会員	828人
援助会員	236人
両方会員	37人
合計	1,101人

◆新規会員(111人)と、対象外による退会(72人)により増となった。

イ 研修・会合開催状況について

- ① アドバイザーとサブリーダーの連絡会を年間10回行った。
- ② 依頼会員の登録説明会を年間80回実施した。(うち日曜開催1回)
- ③ 安心安全な子どもの預かりを行うため、「普通救命講習」や「子どもの心と体の発達とその問題点」など、2日間で合計10時間程度の『援助会員養成講習会』を年間2回実施した。
- ④ フォローアップ講習会では、～子どもの食事とおやつ～と題し、管理栄養士の指導のもと、『料理講習会』を実施した。
- ⑤ 会員同士の交流を図るために『会員交流会』として「☆きて！見て！あそぼう！ワイワイ 夏のおたのしみ会☆」と「あったか ぼかぼか交流会」を行った。

内 容	開催数 (回)	会員登録者 実数 (人)	参加者数	
			延べ人 数 (人)	備 考
アドバイザー、サブリーダー連絡調整会	10		123	
依頼会員登録説明会	80	105	185	家族(会員の子ども等)同席者も含む
援助会員養成講習会	2	援助会員4 両方会員3	56	講師、託児(会員の子ども)、託児要員を含む
フォローアップ講習会	1		41	講師、託児(会員の子ども)、託児要員を含む
会員交流会	2		193	出演者、会員の家族及び子ども、会員外の参加者を含む
合 計	95	112	598	

- ◆援助会員養成講習会は参加希望者が少なく、援助会員の確保に苦慮している。
- ◆フォローアップ講習会、会員交流会は好評で参加者が多い。
- ◆週に2回依頼会員登録説明会を行っているが、予定が合わない方のために随時受付し、依頼会員数の増に努めた。
- ◆平日に入会に来られない方を対象に、11月18日(日)に登録説明会を実施した。

ウ 活動状況について

活動状況においては、「学校・保育所・幼稚園の送り」を中心に、「子供の習い事に伴う送迎」「保護者の就労(短期・臨時・求職活動等)の場合の援助」と続き、年間2,158回の活動が行われた。

内 容	回数(回)
学校の登校前、保育所・幼稚園の登園前の預かり	267
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	139
学校・保育所・幼稚園の送り	348

保育所・幼稚園の迎え	232
放課後児童クラブ終了後の預かり	13
学校の放課後の迎え	125
学校の放課後の預かり	3
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助	7
保護者等の外出の場合の援助	36
放課後児童クラブの迎え	40
子供の習い事に伴う送迎	279
子供の習い事に伴う預かり	31
保育所・学校等休みに伴う送迎	48
保育所・学校等休みに伴う預かり	47
保護者の就労（短期・臨時・求職活動等）の場合の援助	269
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	
子供の病気時の援助	3
その他	271
合 計	2,158

◆合計活動件数 ⇒ 前年度比413件増（29年度 1,745件）

◆件数が増えた理由として

○入会してすぐに利用する方が多かったため。

○厚生労働省への報告件数のカウント方法の変更により、活動内容の項目の見直しを行ったため。

エ 広報活動について

年間2回会報誌を作成し、会員、米子市社会福祉協議会、米子市役所、子育て支援センター、全国ファミリー・サポート・センター（約100か所）、他関係機関に配布し広報活動に努めた。また、在宅福祉員代表者連絡会にて事業説明を行った。

発行月	会報誌名	発行部数（部）
平成30年6月	よなごファミリー・サポート・センター Vol.20	1,500
平成30年10月	ふれあい平成30年10月号	1,500

## 8 お祝い、激励事業

### (1) お祝い事業

#### 88歳（米寿）のお祝い

米寿（88歳）の対象者に祝詞、お祝いの記念品を送った。

対象者数（昭和6年生まれ）769人

## (2) 激励事業

交通遺児に対し、激励金の支給を行った。

交通遺児に対する激励金の支給

対象児童数（人）	一人当りの支給額（円）	金額（円）
9	30,000	270,000

## 9 福祉バス運行事業

地区社会福祉協議会を始め市内の福祉団体、老人クラブ等の登録会員の地域社会交流、研修及び社会参加の促進を図るため、福祉バスの運行を実施した。

ア 老人福祉バスの運行状況

	利用回数（回）	利用延人数（人）
計	234	4,568

イ 福祉バスの運行状況

	利用回数（回）	利用延人数（人）
計	218	4,206

## 10 福祉団体等への支援・協力

### (1) 募金団体の事務局運営

福祉に関係のある募金団体の事務局運営を行い、募金運動に協力した。

- ①鳥取県共同募金会米子市共同募金委員会
- ②日本赤十字社鳥取県支部米子市地区
- ③米子地区更生保護協力会

### (2) 福祉団体の事務局運営と活動への支援

福祉団体の事務局運営を行うとともに、自主活動化の支援を行った。また、福祉団体及び協力団体等の活動に対し助成を行った。

ア 福祉団体の事務局運営 10 団体

- ①米子市老人クラブ連合会
- ②米子市肢体不自由児者父母の会
- ③米子市手をつなぐ育成会
- ④米子市身体障害者福祉協会
- ⑤米子市連合母子会
- ⑥米子市保育所保護者会
- ⑦米子市遺族会
- ⑧米子更生保護女性会
- ⑨米子市地区社会福祉協議会長連絡会
- ⑩米子市ボランティア協議会

イ 福祉団体等の育成助成団体 14 団体

- ①米子市民生児童委員協議会
- ②米子市連合婦人会
- ③米子市老人クラブ連合会

- ④米子市身体障害者福祉協会
- ⑤米子市遺族会
- ⑥米子市手をつなぐ育成会
- ⑦米子市肢体不自由児者父母の会
- ⑧米子市連合母子会
- ⑨鳥取県視覚障害者福祉協会西部支部
- ⑩米子更生保護女性会
- ⑪米子保護区保護司会
- ⑫米子市地区社会福祉協議会長連絡会
- ⑬米子市ボランティア協議会
- ⑭青少年育成米子市民会議

ウ 協力団体活動助成 1 団体

- ①米子市自治連合会

## 1 1 介護事業

### (1) 介護事業の実施

社会福祉協議会運営の介護事業として「できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることを支える」という観点から、地域が必要としているサービスが実施できるように努めるとともに地域で信頼され、開かれた施設となるよう運営に尽力した。

米子市中央デイサービスセンターは通常型で運営。介護予防の利用が昨年度よりも減少し、要介護の利用が増えた。全体として介護度の軽度の利用が多い傾向がある。よどえ通所介護事業所について、通常型で運営。要介護度の重度の傾向がある。昨年度よりも大幅に利用件数が増えた。介護予防の利用が増えつつある。

2 事業所の共通点としては冬季の積雪が無かったことから昨年度よりも利用者数が増加している。

#### ①通所介護事業実績

米子市中央デイサービスセンター	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険利用回数 (回)	357	378	391	392	403	370	388	383	350	333	310	369	4,412
介護予防利用回数 (回)	22	21	17	14	14	11	12	12	10	12	12	12	170

よどえ通所介護事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険利用回数 (回)	404	415	434	426	482	449	474	478	408	424	404	417	5,215
介護予防利用回数 (回)	40	45	44	51	53	52	66	54	63	60	67	71	666